

当院の2024年成績

(2025.2発行)

当院の2024年の体外受精の成績

採卵周期数	292周期	採卵した人は214人。のべ292周期。
施行した人の年齢	22～49歳	平均36.8歳
採取できた卵子数	3142個	平均10.8個(1個～52個)
受精した卵子数	1549個	平均5.7個
移植も凍結もできず	62/292	21.2%(平均年齢39.2歳)

日本産科婦人科学会の集計では、2022年の採卵総周期数(顕微授精なども含む)は275,296周期でした。

当院の2024年の新鮮胚移植の成績

胚移植数	24個	新鮮胚移植した人は14人。のべ16周期。	平均1.5個(1～3個)
妊娠率	37.5%	(6/16)	
分割胚移植(平均43.8歳)	12.5%	(1/8)	
胚盤胞移植(平均38.8歳)	50.0%	(3/6)	
二段階胚移植(平均42.5歳)	100.0%	(2/2)	
妊娠した人の年齢	31～44歳	平均40.0歳	

日本産科婦人科学会の集計では、2022年の新鮮胚移植あたりの妊娠率は21.9%、単一胚移植率は82.4%(当院では56.3%)でした。当院では、融解胚移植の方が妊娠し易いと考えられるケースにおいて、新鮮胚移植は施行しておりません。

当院の2024年の融解胚移植の成績

施行した人の年齢	22～48歳	平均36.0歳
胚移植数	531個	平均1.2個
妊娠率	43.4%	(189/435)
分割胚移植(平均41.9歳)	23.1%	(6/26) 平均1.5個
胚盤胞移植(平均35.3歳)	44.7%	(173/387) 平均1.2個
二段階胚移植(平均38.3歳)	45.5%	(10/22)
妊娠した人の年齢	22～45歳	平均34.6歳

2022年、日本産科婦人科学会の集計による凍結胚を用いた治療周期数は264,015周期、融解胚移植あたりの妊娠率は全国平均で37.8%、単一胚移植率は85.3%(当院では79.0%)でした。(分割胚移植は基本的に胚盤胞に至らなかった、あるいは至りそうにないケースでおすすめしております。その為、平均年齢は高く妊娠率は低いのですが、胚盤胞に至らない症例でもある程度妊娠できるという多少のメリットはあると考えております。)

当院の2024年の人工授精の成績

施行数	514件(平均33.0歳、25～48歳)	人工授精した人は257人。
妊娠した人	56人(平均31.8歳、25～38歳)	
妊娠率	施行あたり10.9%(患者様あたり21.8%)	

人工授精の妊娠率は一般には5～10%といわれています。